



楽曲「生きる」の合唱の様子

日本カトリック平和旬間（8月6～15日）の初日、また77年目の広島原爆の日にあたる6日(土)、芦屋市にあるカトリック・プロテスチント10教会の有志で構成される「芦屋キリスト教協議会(CCA)」の主催で、平和を祈る集いが催された。

2016年から毎年8月の第一土曜日に行われてきた「平和への祈り」は、ここ2年はコロナ禍のためオンライン配信で行つた。今年は感染対策を十分にすることと、対面での参加(参加者は関係者に限定)とオンライン配信を組み合わせたハイブリッド式での開催にこぎつけた。

今回は、ウクライナへのロシア侵略、台湾を中心とする米中対立の緊張が高まる中で世界への平和を祈る「1. 平和への祈り」と、沖縄返還50年を迎える今、第二次世界大戦中、日本で唯一市民を巻き込んだ地上戦が行われた沖縄の歴史や文化に触れることで戦争と平和について考え祈る「2. 平和の集い」の二部構成で行われた。第1部・第2部合わせて約100人が参加した。

朝9時から始まつた第一部「平和への祈り」は、おりからの激しい雨のため、会場を芦屋市役所北広場から芦屋教会信徒館ホール

へ移して、沖縄戦の戦跡や記念施設、米軍基地などが、スクリーンに映された写真で紹介された。

続いて、沖縄戦の報告があり、見学した沖縄戦の旅行沖縄平和学習の報告があり、今年3月に実施された「大人の修学旅行」の報告があり、西村佳也副校長が、某食品メーカーの味へ

のこだわりを例に出し、教育も同様で、根幹部分を変えてはならないと問いかけた。

マスク着用・小声ではあったが、昨年は省略した聖歌を、はじめの祈りの中で歌うことができた。

最初の講話では仁川学院小学校の前川和裕教諭が、生徒との出会いと別れの話を通じて、人と人をつなぐ、人と神様をつなぐことが力

を感じるカトリック校の役割であると語った。

大阪聖母女学院卒業生の白神順子氏は、「今になつて感じたカトリック校のよさ」について語った。宗教の授業で「神の創造」、理科の授業で「ダーウィンの

進化論」を習つた時のこと

をユーモアを交えて話した今、改めてカトリック校・教師の役割について意見が交わされた。

マスク着用・小声ではあったが、昨年は省略した聖歌を、はじめの祈りの中で歌うことができた。

最初の講話では仁川学院小学校の前川和裕教諭が、生徒との出会いと別れの話を通じて、人と人をつなぐ、

人と神様をつなぐことが力

を感じるカトリック校のよさ」について語つた。宗教

の授業で「神の創造」、理

科の授業で「ダーウィンの

進化論」を習つた時のこと

をユーモアを交えて話した今、改めてカトリック校・教師の役割について意見が交わされた。

マスク着用・小声では

あったが、昨年は省略した聖歌を、はじめの祈りの中

で歌うことができた。

最初の講話では仁川学院小学校の前川和裕教諭が、生徒との出会いと別れの話を通じて、人と人をつなぐ、

人と神様をつなぐことが力

を感じるカトリック校のよ

さ」について語つた。宗教

の授業で「神の創造」、理

科の授業で「ダーウィンの

進化論」を習つた時のこと

をユーモアを交えて話した今、改めてカトリック校・教師の役割について意見が交わされた。

マスク着用・小声では

あったが、昨年は省略した聖歌を、はじめの祈りの中

で歌うことができた。

最初の講話では仁川学院小学校の前川和裕教諭が、生徒との出会いと別れの話を通じて、人と人をつなぐ、

人と神様をつなぐことが力

を感じるカトリック校のよ

さ」について語つた。宗教

の授業で「神の創造」、理

科の授業で「ダーウィンの

進化論」を習つた時のこと

をユーモアを交えて話した今、改めてカトリック校・教師の役割について意見が交わされた。

マスク着用・小声では

あったが、昨年は省略した聖歌を、はじめの祈りの中

で歌うことができた。

最初の講話では仁川学院小学校の前川和裕教諭が、生徒との出会いと別れの話を通じて、人と人をつなぐ、

人と神様をつなぐことが力

を感じるカトリック校のよ

さ」について語つた。宗教

の授業で「神の創造」、理

科の授業で「ダーウィンの

進化論」を習つた時のこと

をユーモアを交えて話した今、改めてカトリック校・教師の役割について意見が交わされた。

マスク着用・小声では

あったが、昨年は省略した聖歌を、はじめの祈りの中

で歌うことができた。

最初の講話では仁川学院小学校の前川和裕教諭が、生徒との出会いと別れの話を通じて、人と人をつなぐ、

人と神様をつなぐことが力

を感じるカトリック校のよ

さ」について語つた。宗教

の授業で「神の創造」、理

科の授業で「ダーウィンの

進化論」を習つた時のこと

をユーモアを交えて話した今、改めてカトリック校・教師の役割について意見が交わされた。

マスク着用・小声では

あったが、昨年は省略した聖歌を、はじめの祈りの中

で歌うことができた。

最初の講話では仁川学院小学校の前川和裕教諭が、生徒との出会いと別れの話を通じて、人と人をつなぐ、

人と神様をつなぐことが力

を感じるカトリック校のよ

さ」について語つた。宗教

の授業で「神の創造」、理

科の授業で「ダーウィンの

進化論」を習つた時のこと

をユーモアを交えて話した今、改めてカトリック校・教師の役割について意見が交わされた。

マスク着用・小声では

あったが、昨年は省略した聖歌を、はじめの祈りの中

で歌うことができた。

最初の講話では仁川学院小学校の前川和裕教諭が、生徒との出会いと別れの話を通じて、人と人をつなぐ、

人と神様をつなぐことが力

を感じるカトリック校のよ

さ」について語つた。宗教

の授業で「神の創造」、理

科の授業で「ダーウィンの

進化論」を習つた時のこと

をユーモアを交えて話した今、改めてカトリック校・教師の役割について意見が交わされた。

マスク着用・小声では

あったが、昨年は省略した聖歌を、はじめの祈りの中

で歌うことができた。

最初の講話では仁川学院小学校の前川和裕教諭が、生徒との出会いと別れの話を通じて、人と人をつなぐ、

人と神様をつなぐことが力

を感じるカトリック校のよ

さ」について語つた。宗教

の授業で「神の創造」、理

科の授業で「ダーウィンの

進化論」を習つた時のこと

をユーモアを交えて話した今、改めてカトリック校・教師の役割について意見が交わされた。

マスク着用・小声では

あったが、昨年は省略した聖歌を、はじめの祈りの中

で歌うことができた。

最初の講話では仁川学院小学校の前川和裕教諭が、生徒との出会いと別れの話を通じて、人と人をつなぐ、

人と神様をつなぐことが力

を感じるカトリック校のよ

さ」について語つた。宗教

の授業で「神の創造」、理

科の授業で「ダーウィンの

進化論」を習つた時のこと

をユーモアを交えて話した今、改めてカトリック校・教師の役割について意見が交わされた。

マスク着用・小声では

あったが、昨年は省略した聖歌を、はじめの祈りの中

で歌うことができた。

最初の講話では仁川学院小学校の前川和裕教諭が、生徒との出会いと別れの話を通じて、人と人をつなぐ、

人と神様をつなぐことが力

を感じるカトリック校のよ

さ」について語つた。宗教

の授業で「神の創造」、理

科の授業で「ダーウィンの

進化論」を習つた時のこと

をユーモアを交えて話した今、改めてカトリック校・教師の役割について意見が交わされた。

マスク着用・小声では

あったが、昨年は省略した聖歌を、はじめの祈りの中

で歌うことができた。

最初の講話では仁川学院小学校の前川和裕教諭が、生徒との出会いと別れの話を通じて、人と人をつなぐ、

人と神様をつなぐことが力

を感じるカトリック校のよ

さ」について語つた。宗教

の授業で「神の創造」、理

科の授業で「ダーウィンの

進化論」を習つた時のこと

をユーモアを交えて話した今、改めてカトリック校・教師の役割について意見が交わされた。

マスク着用・小声では

あったが、昨年は省略した聖歌を、はじめの祈りの中

で歌うことができた。

最初の講話では仁川学院小学校の前川和裕教諭が、生徒との出会いと別れの話を通じて、人と人をつなぐ、

人と神様をつなぐことが力

を感じるカトリック校のよ

さ」について語つた。宗教

の授業で「神の創造」、理

科の授業で「ダーウィンの

進化論」を習つた時のこと

をユーモアを交えて話した今、改めてカトリック校・教師の役割について意見が交わされた。

マスク着用・小声では

あったが、昨年は省略した聖歌を、はじめの祈りの中

で歌うことができた。

最初の講話では仁川学院小学校の前川和裕教諭が、生徒との出会いと別れの話を通じて、人と人をつなぐ、

人と神様をつなぐことが力

を感じるカトリック校のよ

さ」について語つた。宗教

の授業で「神の創造」、理

科の授業で「ダーウィンの

進化論」を習つた時のこと

<p



A Road to Peace : Listening to One Another 互いに耳を傾けて平和への道を



平和旬間 2022
10 Days for Peace

コロナウイルス感染拡大により、予定を変更、中止された行事がありました。

◆姫路地区西ブロック 8/7(日) ブロック行事から各小教区での主日のミサ説教に切り替え開催した。小教区の枠をこえて交流を楽しみにしていただけに残念という声が多数あった。真の平和への道を人として歩み通したイエスに習うべく、今年のテーマに沿ってキリスト者として「聴く」事の大切さを聖書を通して学べるよう計画した。

◆姫路 8/6(土)～15(月)「日本カトリック平和旬間」が定められた経緯を紹介し、7月に信徒から平和の祈り(共同祈願)を募集した。日本語だけではなくベトナム語の祈りも多く寄せられ、祈願文は旬間の期間中、毎日のミサの中で祈り繋いだ。



◆仁豊野 8/7(日) 平和祈願ミサと7月中旬より核兵器に関する資料を掲示し、それに対する思いを募集した。また7/31と8/7にはアニメ「いわたくんちのおばあちゃん～ぼく、せんそうせんけえね～」を上映。感想を分かち合った。戦争体験者が高齢化する中で若い世代へ伝える対策が必要。未来を担う子どもたちへ働きかけ、ポスターはベトナム語翻訳に取り組んだ。



◆佐用 8/6(土)・9(火)・15(月) 広島、長崎原爆の日、終戦の日に教会に集い、鐘を鳴らし、「平和を求める祈り」を唱えた。人は「なぜ戦争へと向かうのか」を、あらためて、問いかねた平和旬間だった。「長崎原爆の日」には、隣接する作用マリア幼稚園園児と先生方が参加。その笑顔と祈りはまさしく「平和アピール」だった。



◆東ブロック 8/7、14、21、28(日) 4回に分けて平和祈願ミサを開催。テーマは「違いを認め合い、一人ひとりの命を大切にし、戦争のない平和な世界にしよう」。チラシ、教会週報で信徒全員にテーマ及び内容を知らせ参加できるようにした。外国人やこどもたちにも積極的に呼びかけ、「平和への祈り」を作成した。



◆洲本 8/7(日) 12の平和テーマに即した共同祈願を信徒に呼びかけた。よびかけは英語でも行き、フィリピンの人もいつしょに祈ることができた。事前準備から多くの人に参加してもらうことで過去の戦争を顧み平和を希求する思いをひとつにすることことができた。



◆神戸中央 8/7・14(日) 特別なイベントは出来ないと判断、平和旬間の周知と家庭でも祈ることができるよう、祈りのシートを作り、あわせて2回のミサ前にみんなで祈った。ウクライナとロシアのこともあり平和の意味、大切さを以前より感じている。

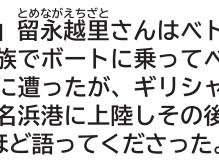
◆夙川 *平和旬間日記 8/6(土)～15(月)、「家族とともに平和を考える図書コーナー」開設 *7/17(日)～9/4(日) 平和祈願ミサ *8/7(日) ビスカルド篤子さん(シナピス)の講演 Line連絡網、Googleフォーム、QRコードなどを使って周知や投稿の便を図り、自宅はもちろん海外を含む遠隔地から参加できるようにし、講演動画を教会ホームページに掲載している。



◆仁川 8/6(土)～7(日) 8/14(日) 平和祈願ミサ「本土復帰50年」の沖縄が今もなお抱える苦悩を、「日本の問題」として感じてほしいという思いで、沖縄の小学生が作った「平和の詩」を社会活動委員が朗読した。「平和旬間」の意義を伝え、「過去を振り返り、将来に対して平和を築く責任を担う決意の時」にしたいと願った。



◆園田 8/7(日)「戦争の体験」留永越里さんはベトナム戦争を体験し、知り合いと家族でボートに乗ってベトナムを脱出。途中で様々な苦難に遭ったが、ギリシャ船に発見され、福島県いわき市小名浜港に上陸しその後帰化。厳しく難しい体験を1時間ほど語ってくださいました。



◆伊丹 8/14(日) テーマ「優しい世界は些細なことから」篠原富美子さんの講演(キャリアコンサルタント)傾聴ボランティアを長年継続。戦争やバンデミックを止めることは難しくても、一人ひとりが「相手に耳を傾ける(傾聴)」ことから優しい世界、平和の実現に繋がる。「傾聴のメリット」「傾聴のコツ」など日常でもすぐ役立つ話だった。8/15のミサでは特にウクライナとロシア両国への早期の平和を祈願した。



◆尼崎 8/7(日) 平和に関する祈りのパンフレットを配布した。ミサ後、コルベ記念館の館長だった小崎登明修道士(聖母の騎士修道院/長崎原子爆弾被爆者)の話(Youtubeにアップロードしたもの)鑑賞。今後、小教区同士が合同web講演会なども開催できるのではないかと期待する。



◆武庫之荘 8/14(日) 稼働が一致して平和を祈りながら協力してオブジェを作成した。平和を単に戦争のない状態と捉えるだけでなく、日々の生活の中で「傾聴」「尊重」「相手を理解しようとする態度」「誠意」を実行し、平和を実現しうる「対話」を行えるよう、イエスが示した「平和」とはどのような状態であるのかを理解できるようにミサ説教でモラレス神父より話を聞いた。



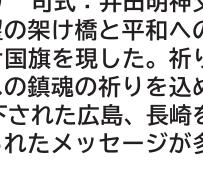
◆高槻 7月の主日のミサで「世界平和の日 2022 教皇メッセージ」を配布「祈りの短冊」を呼びかけ、8/15(月)のミサで奉納した。寄せられた祈りの多くは日常で小さな平和を築いていくことが、眞の平和の実現に繋がるという思いが一致していた。自宅待機者や他の教会の人とも共有できるように教会のホームページにアップできないかとの意見もあった。



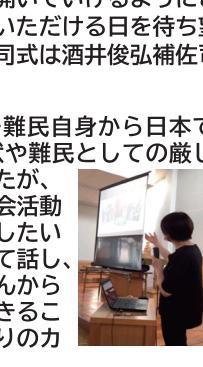
◆池田 8/7(日) 平和祈願ミサ畠基幸神父(御受難会)による講話。ミャンマー滞在時を振り返り、クーデター以降の平和からほど遠い状況を見て、今の思いを語っていただいた。話だけでなくスライドもあり、より実際経験された活動の様子がわかった。



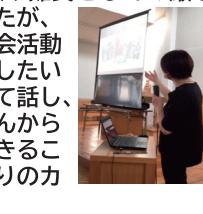
◆吹田 8/14(日) 平和祈願ミサ 司式: 井田明神父 雷的花束を作成 大きな虹は希望の架け橋と平和への道、ひまわりと青空はウクライナ国旗を現した。祈りの鶴は、戦争で亡くなった方々への鎮魂の祈りを込めた。戦後77年を迎え、原爆が投下された広島、長崎を思い、眞の平和への願いがこめられたメッセージが多くかった。



◆北地区 8/13(土) 7人の方から『キリスト者としてのあなたにとっての平和』というテーマでスピーチをしていただく予定だったが、中止となった。互いに耳を傾けて平和への道を少しでも切り開いていくように願いつつ、平和への思いを語っていただける日を待ち望みたい。平和祈願ミサのみ開催。司式は酒井俊弘補佐司教(写真ページ左上)



◆大東 8/7(日) ミャンマー難民自身から日本では報道されないミャンマーの現状や難民としての厳しい状況をお話しいただく予定だったが、事情によりお越しいただけず、社会活動委員会よりミャンマーをテーマとした生きづらさや歴史、厳しい現状について話し、またシナピスのビスカルド篤子さんから難民をめぐる問題点、私たちにできることを話していただいた。平和の祈りのカードを配布した。



◆枚方 8/7(日) 信徒の体験(空襲・広島)と「平和と一致」について分かち合いを深めた。他人事の戦争の話や言葉だけの平和ではなく、戦争と隔ての壁の根元を自分事として考える時を持てた。



◆堺 8/7(日) DVD「戦争童画集～75年目のショートストーリー NHK放送史」視聴。分散ミサ継続中ではあるが、それなりの参加があった。分かち合いは出来なかつたが記憶が薄れゆく戦争の歴史を知る機会となった。

◆金剛 8/7(日) DVD「夏服の少女たち」上映。広島で原爆が投下され爆心地から800メートルの地で学徒動員中に被爆した広島第一高等女学校1年生220人の少女たちの話。それとあわせて広島出身の方のリアルな話も聞き、平和を考える機会になった。



◆枚岡 7/24(日) ミサ説教でウクライナ人道支援ボランチンド在住の兵頭博さんの話。7/26(火)直接ボーランドとリモートでつなぎ、現地の方々と質疑応答。8/7ミサ説教時、漆原比呂志さん(JLMM)によるカンボジアの話を聴いた。また、旬間期間中、アシジの聖フランシスコの祈りを配布し、10日間祈った。



◆玉造 8/10～15 戦争の写真と絵本展示7/24(日)～千羽鶴作り8/7(日) 戦争体験者の話を聞く。今回初めて青少年委員会と合同で開催。多数のアイデアが出したこと、こどもや保護者の参加につながり良い時間となった。



◆住之江 8/7(日) テーマ「私は平和を築くためにどう行動するか」シベリア抑留者の証言動画「行く先も分からずに」を視聴。太平洋戦争、ベトナム戦争、朝鮮戦争の体験談、体験者または親族から見聞きしたこと話を聞いていただいた。その後分かち合い、平和への決意を作成し、聖母被昇天ミサで奉納。爆撃で破壊された大阪の惨状を伝える写真パネル展示も行った。



◆貝塚 7/31(日) ミサの中で、司祭が作成したビデオ(13分)を上映。過去の戦争ではなく、あるアフガニスタンの難民家族の状況を例にあげ、教皇の具体的な言葉を用いて互いに耳を傾け平和への道を考えた。



◆熊取 7/31(日) ビデオ鑑賞と司祭の話テーマ:「難民の家族の絆、みまもること、平和の道へ」アフガニスタンから日本への退避者についてのDVD鑑賞。平和について考えるきっかけに、7月からミサの共同祈願で「聖書と典礼」パンフレットに3項目を追加。1～2項目は平和を願う祈りとした。日本政府の不十分な難民受け入れの対応と実状との差を感じながら、祈ることしかできないことを痛感した。



◆紀の川 8/7(日) 平和祈願ミサの説教において平和を考える内容としミサの中で「平和の祈り」を唱えた。コロナで講演会が中止となったが、計画や準備、事前に告知することによって教会はいつも平和を考え作り出すことを推進していると言う意識を確認出来た。



◆泉佐野 8/7(日) 2022年度、平和旬間テーマ「互いに耳を傾けて平和への道」に向けてYouTube動画「ウクライナの平和のための祈り」の中のロザリオの祈り、一玄義を、各ミサの参加者全員で唱えながら、全世界の平和を願いました。コロナ感染の影響で、岸和田地区ユースの友ヶ島での平和学習が延期になり、コロナが落ち着き、実施されることを期待します。



◆和歌山紀北 8/7(日) 互いに耳を傾けることの大切さと難しさについて、司祭の話や分かち合いを通して考えた。古屋聖堂、屋形町聖堂が発表。第二次世界大戦時のロシアの従軍女性500人あまりの証言を聴き「戦争は女の顔をしていない」を書いたスヴェトラーナ・アレクセーエヴィチに触れ、あらゆる違いを知り、それを乗り越えていける視点を持つことを目指した。



◎詳細は冊子にして後日各小教区へお送りいたします。
(シナピス事務局)

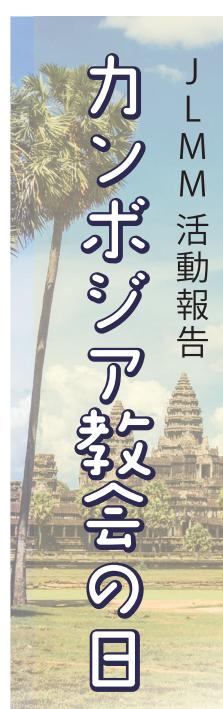
大阪教区にはこれまでカンボジアの神学校や「カトリック青年ラジオ局」などとともに、JLMMが現地で運営する支援活動に2009年度から過去13年

ご協力いただいている。そこでこの度、活動報告会を実施させていただいた。

この度、活動報告会が開かれた。報告会には、過去に開催してきた「大阪教区青年スタッフ・スタディツアー」の参加者も

毎年8月第一曜日は、教区の「カンボジア教会の日」。この日の献金はカンボジアの教会や現地の社会活動の支援に充てられる。8月7日(日)15時、サクラファミリアで一般社団法人「JLMM(旧・日本カトリック信徒宣教者会)による活動報告会が開かれた。

この度、活動報告会が開かれた。報告会には、過去に開催してきた「大阪教区青年スタッフ・スタディツアー」の参加者も



JLMMが行っている子どもたちの識字教育、給食託児所、仕事づくりなどの活動について、事務局長の漆原(筆者)が報告。

駆けつけてくださいり、参加当时の様子や現在の思いについて、会場で分かれ合つてくださった。

約30年続いた内戦により、復興がなかなか進まない状況だが、世界の状況は目まぐるしく変化し、カンボジアへの関心も薄れつつある。こうした中、大阪教区の皆様の継続的で力強いご支援は、現地の人びとやスタッフにとって、非常に大きな励ましとなつている。皆様のご支援に心より感謝申し上げたい。

(文 JLMM 事務局長 漆原比呂志)



教区青年スタッフ・ツアーの写真を見ながら

エキュメニズム委員会

ペントコステ・ヴィジル



6月4日(日)、コロナウイルスの大流行で2年間中止してきた「ペントコステ・ヴィジル(聖靈降臨前夜祭)」の祈りを今年に入行って行うことができた。会場は茶屋町の日本聖公会大阪聖パウロ教会。約45人が参加した。(写真:左から井上隆晶牧師、池田大地牧師、内田望司祭、フリオ・トレス神父、大柴讓治牧師、筆者のロッコ・ビビアーノ神父)

司式者は日本聖公会の内田望司祭。日本基督教団の井上隆晶牧師、日本福音ルーテル教会の議長である大柴讓治牧師と同教会の池田大地牧師、カトリック教会の代表としてエキュメニズム委員会の委員長である大柴讓治牧師と同教会の池田大地牧師、カトリック教会の代表としてエキュメニズム委員会の委員長である筆者が加わった。説教はクラレチアン宣教会日本管区長のフリオ・トレス神父が行つた。

この聖靈降臨前夜祭の礼拝は、洗礼を通してキリストと結ばれたすべての人に与えられている聖靈によつた。長い間中止していたため、今回の集いは特に喜びの雰囲気に包まれた。コロナウイルスの感染症が完全に治まり、来年も多くの兄弟姉妹と共にまたペントコステ・ヴィジルを行うことができるよう願つている。

〔文 エキュメニズム委員会 委員長 ロッコ・ビビアーノ神父〕

62 聖パウロは彼の弟子たちに、互い「とすべての人」(テサロニケ3・12)へ愛をもつよう勧め、そしてヨハネの共同体では、「兄弟たち、それも、よそから来た人たち」(ヨハネ5)を親切に迎えるよう求めら

第2章 「道端の異邦人」

愛は、傷を負つた兄弟がこの土地の出身なのかを気にしたりしません

〔副題〕の第2章は、「よきサマリア人」のたとえ話(ルカ福音書10・25～37)の説明です。

示されているのは、自分の所属する集団の仲間かどうかにかかわらず、助けを必要としている人の前にいるようにといふことです。この場合、サマリア人が、傷ついたユダヤ人の隣人となつたのです。近くそこにあるために、あらゆる文化的、歴史的な垣根を突破つたのです。

81 62 聖パウロは彼の弟子たちに、互い「とすべての人」(テサロニケ3・12)へ愛をもつよう勧め、そしてヨハネの共同体では、「兄弟たち、それも、よそから来た人たち」(ヨハネ5)を親切に迎えるよう求めら

88 この物語は、抽象的な理念を暗示するものでもなければ、社会的・倫理的な教訓を伝える役目しかないのであります。たしたちは愛においてのみたどり着くことのできる充満のために造られた、といふことです。

81 62 聖パウロは彼の弟子たちに、互い「とすべての人」(テサロニケ3・12)へ愛をもつよう勧め、そしてヨハネの共同体では、「兄弟たち、それも、よそから来た人たち」(ヨハネ5)を親切に迎えるよう求めら

88 この物語は、抽象的な理念を暗示するものでもなければ、社会的・倫理的な教訓を伝える役目しかないのであります。たしたちは愛においてのみたどり着くことのできる充満のために造られた、といふことです。

「同郷のよしみ」というように、同じ国や地域の出身者同士は、同じ文化や歴史の中で育つのですから、付き合いやすいのは当然です。それが悪いわけではありませんが、理由もなに違うところの出身者を排除することは、キリスト教の心ではありません。イエス様は例外なくすべての人の救いのために世に来られたのです。自分と肌が合わない人たちをも愛するという挑戦です。

77・78 今日、兄弟愛の神髄を明らかにするための絶好の機会が目の前にあります。憎しみや恨みを募らせるのではなく、失敗した人の痛みを背負う、もう一人のよいサマリア人になる好機です(……)。不毛な内輪の争い、終わらない対立、そのさもしさ、恨みを捨てようではありませんか。

さあ、もう一人のサマリア人になりましょう!

回勅 兄弟の皆さん

連載第2回(全7回)
酒井俊弘補佐司教

キーワードで読み解く

ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

教区委員会主催**信仰養成連続講座◆カテキズムの第3編:使徒職**

日時 10/27(木)18:30~20:00
 講師 酒井俊弘補佐司教
 場所 サクラ ファミリア /YouTube配信あり
 問 ☎06-6941-9700
 主催 使徒職養成委員会

2022年度諸宗教活動◆第3回 イスラムとの対話:講話

テーマ「イスラムの第一の柱」
 日時 10/29(土)17:30~19:00
 (受付開始17:15)
 講師 フランシスクス・ブルハスタント神父
 (イエズス会)
 場所 教区本部事務局 1階会議室
 問 ☎06-6941-9700
 メール ird-ecm@osaka.catholic.jp
 主催 諸宗教対話委員会

サクラ ファミリア主催

聞かせてください 神さまと出会った時のこと~エマオへの道で~◆大阪教区で働く司祭・修道者が自身の体験をきく
 日時 10/13(木)19:00~20:30
 (夜の部)・10/14(金)10:30~12:00(昼の部)※両日とも同じ内容となります
 おはなし 第1回 竹延真治神父
 (クラレチアン宣教会・今市教会)

コレーン神父と学ぶ聖書◆ルカ福音書をともに読む~C年ルカ福音書への導入~

日時 第2(月)13:30~15:00
 (4~12月開講)
 参加費 ¥500

「新生の明日を求めて」読書会

◆大阪教区のシノダリティ(ともに歩む)の原点を確認しよう
 日時 毎週(月)(第2は休み)
 14:00~15:30
 担当 松浦信行神父

聖書通読会◆聖書のダイナミックな流れが感じられます

日時 毎週(木)10:00~11:30
 担当 松浦信行神父

「YOUNCAT(青年向けカテキズム)」勉強会◆老いも若きも、キリスト教を理解しよう

日時 毎週(金)19:00~20:00
 担当 松浦信行神父

祈りのによる◆灯りをかこみともに祈る静かな時間を

日時 毎月17日 19:00~19:30

問 サクラ ファミリア
 ☎06-6225-8871
 メール f.sacra@osaka.catholic.jp

結婚準備講座

夙川教会
 日時 10/1~22(土)
 4回16:30~18:00

参加費 ¥5,000(2名)

問 ☎0798-22-1649

六甲教会

日時 次回2023年2/4~3/25(土)
 8回 17:30~19:00
 参加費 ¥10,000(2名)
 問 ☎078-851-2846
 ※事前要問合せ(年2回)

黙想会**宝塚黙想の家**

◆日帰り黙想会
 日時 10/20(木)・10/28(金)
 10:00~15:30
 指導 染野治雄神父(10/20)
 山内十束神父(10/28)
 参加費 ¥3,500

週末黙想会

日時 10/28(金)17:00~
 10/29(土)15:30
 指導 染野治雄神父
 参加費 ¥9,000

聖地エルサレムを学ぶ

日時 第3(木)10:00~12:00
 指導 笹田六合豊修道士
 参加費 ¥1,000

カトリック教会のカテキズム

日時 第2・4(水)10:00~12:00
 指導 染野治雄神父
 参加費 ¥1,000

祈りを深めるための聖書の基本

日時 第1・第3(水)10:00~12:00
 指導 山内十束神父
 参加費 ¥1,000

問 宝塚黙想の家 ☎0797-84-3111

講座・研修会**講座 本田哲郎神父◆小さくされた人々のための福音**

日時 毎月第3(金)10:00
 場所 神戸学生青年センター

参加費 ¥1,000

問 岩村 ☎070-5045-7127

主催 神戸国際支縁機構

NCK日本カテキズム会

◆第1回 高見三明大司教のカテキズムを「学ぶ会」
 日時 10/21(金)10:00~11:30
 場所 サクラ ファミリア
 4階会議室
 参加費 ¥500(テキスト代込み)

◆第38回 NCK公開信仰養成講座

テーマ『現代世界憲章』第一部 3・4章「人間活動の価値とは」
 日時 10/21(金)13:00~17:30
 【第一講話】高見三明名誉大司教(長崎教区)【第二講話】牧山強美神父(福岡カトリック神学院院長)
 10/22(土)10:00~12:00
 【第三講話】光延一郎神父(イエズス会)・派遣のミサ
 場所 サクラ ファミリア 聖堂
 参加費 両日参加¥3,000・10/21のみ¥2,000・10/22のみ¥1,500
 共催 OCK(大阪教区カテキズム会)

主催 NCK日本カテキズム会

問 ☎090-3865-8010
 メール nckkate@gmail.com

HP <https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15~35歳までの若者の集い

日時 第4(土)14:00~16:00
 場所 大阪YCWセンター
 (またはZoom)

問 レネ神父・水元
 ☎072-232-8063
 メール osakacycw@gmail.com
 HP <http://www.ycw.jp/>

要約筆記グループ“エッファタ！”練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア

対象 要約筆記に関心のある方。フリーソフトcaption online を使いパソコンまたはスマホで練習します。
 日時 毎月第2(水)10:00~12:00
 場所 教区本部事務局 1階会議室
 問 障がい者委員会
 メール dis@osaka.catholic.jp
 主催 要約筆記グループ “エッファタ！”

精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い

日時 第3(日)14:00~16:00
 場所 姫里集会所
 申込 吉川まで
 問 ☎078-583-2525

力障連大阪フレンドリー

◆点字部の勉強会
 対象 パソコン点訳に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方
 日時 奇数月・第2(火)13:30~15:00
 場所 姫里集会所
 申込 笠松まで
 問 ☎090-5661-4324
 メール iris.eonet.ne.jp

マザー・テレサ共労者の集い
 コロナ禍が収まり次第再開

司教予定 (左記「行事等日程」以外)

- 10/2(日) いづみブロック合同堅信式(†S)
- 10/11~31 タイ、FABC総会(アジア司教協議会連盟)(†M)
- 10/15(土) 社会福祉法人ヨハネ会設立60周年記念ミサ(†S)
- 10/23(日) 枚岡教会献堂60周年ミサ(†S)
- 10/30(日) 垂水教会 堅信式(†S)

†M=前田万葉大司教

†S=酒井俊弘補佐司教

**行事等日程****10月**

5	水	10時 顧問会
6	木	【常任司教委員会】
9	日	青年と子どもの鍛成会
16	日	INTERNATIONAL DAY
23	日	世界宣教の日(献金) 教区典礼研修会
26	水	10時半 教区月修

11月

1	火	諸聖人
---	---	-----

編集後記

ひとりで悩まないで
 ~私たちに聴かせてください~

カトリック大阪大司教区

セクシュアル・ハラスメント

相談窓口

電話番号: 06-6941-9718

相談窓口受付時間

月・火・金曜日(祝日を除く)

午前10時~午後4時

あなたの悩みを親身になって受け止めます。
 秘密は守られます。

有償ボランティア事務局員募集

詳しくは
 ホームページ
 をご覧下さい。

<https://yurikago.site>



理事長 人見 滋樹
 (元カトリック医師会会長)

認定NPO法人
 こうのとりのゆりかご in 関西

ミサ場所変更

※変更は10月第一日曜日(10月2日)から。来年の枝の主日(4月2日)まで。

新宮教会

主日ミサ時間変更

△阿倍野教会→なみはや教会へ
 ☎06(6551)6253
 ※毎月第3日曜日14時

(広報委員会 川嶋裕明)
 △中国語ミサ
 の秘跡、病者の塗油のトッピングもあり、葬儀、結婚式、入門講座、納骨墓参、サイドメニューも充実しています。

て注文すると、一回は無料であります。数回分をまとめ特典あります。専用コース。5万円コースは、特別な祝福が与えられることがあります。5万円コースは、普通のミサです。3万円コース、死者や病者への祈りが付きます。

△幼児洗礼、ゆるしのミサです。3万円コースは、普通のミサです。3万円コースは、死者や病者への祈りが付きます。

△ヨハネ福音書のトッピングもあります。専用コース。5万円コースは、特別な祝福が与えられることがあります。5万円コースは、普通のミサです。3万円コース、死者や病者への祈りが付きます。

△ヨハネ福音書のトッピングもあります。専用コース。5万円コースは、特別な祝福が与えられることがあります。5万円コースは、普通のミサです。3万円コース、死者や病者への祈りが付きます。